



ジャクソンのシネマハウスで会いましょう！

前橋市国際交流員 ジャクソン・バニスターの活動報告


令和8年5月

前橋市のミニシアター「前橋シネマハウス」。映画好きの国際交流員ジャクソンが、支配人おすすめの本一本を観て、レビューをお届けします。映画は国境を超える！
皆さん、映画館でお会いしましょう！



5月の映画

『ハムネット』

2025年 アメリカ・イギリス 

Jackson Bannister

群馬県前橋市の国際交流員(CIR)として、日本人と外国人との文化的理解を深めるために活動しています。



映画はもう一人の家族

～前橋の街で新たな映画の発見を。地域とつながりを持った映画館を目指します～



映画を通じて家族のようなつながりを地域の皆さんと作っていききたいという思いから“前橋シネマハウス”をオープンすることになりました。小さな映画館ではありますが、前橋の街なかから様々な映画を発信しています。上映が少ないミニシアター系の良作からシネコンで上映が終了したヒット作、お子様と一緒にファミリーで楽しめる作品、過去の名画など様々なジャンルから作品をセレクトし新しい映画を発見してもらえる。そんな“シネマハウス”をつくっていききたいと思います。

MISSION ————— 前橋千代田町五丁目1-16前橋プラザ元気21別館3階

ハムネット

愛と喪失が織りなす、 静かで美しい物語

今月の映画レビューでは、現在前橋シネマハウスで上映中の『ハムネット』を紹介します！

『ハムネット』は、同名小説を原作とした2025年公開の歴史ドラマ作品です。舞台は16世紀後半のイングランドで、イギリス史上極めて重要なある人物の家族を中心に物語が描かれます。ただし、その人物が誰なのかは映画の中で徐々に明かされていきます。もっとも、勘の鋭い観客やタイトルから察しがつく人なら、かなり早い段階で気づくかもしれません。とはいえ、日本の観客にとっては、この時代のイギリス史や登場人物たちへの馴染みが薄い可能性もあり、英語圏の観客ほど深く楽しめない部分もあるかもしれません。

本作は、監督クロエ・ジャオにとって“原点回帰”とも言える作品に感じられました。ジャオ監督のマーベル作品『エターナルズ』は、大作映画として多くの一般観客を退屈させ、評価も振るわなかったうえに、初期インディーズ作品を愛していたファンからは「ジャオ監督らしさが失われてしまった」と惜まれていました。一方でこの『ハムネット』は、終始ゆったりと丁寧に進行していく作品です。派手なアクションシーンは存在せず、その代わりに、感情に深く訴えかける演技、繊細なストーリーテリング、そして美しい映像表現によって作品世界を作り上げています。そのため、スピード感のある娯楽作を期待している人には、少し合わないかもしれません。

インディーズ映画的な作風でありながら、本作には非常に豪華な制作陣が集まっています。脚本には原作者であるマギー・オファーレル自身も参加しており、

さらにスティーヴン・スピルバーグやサム・メンデスといった著名プロデューサーたちが名を連ねています。俳優陣も非常に優秀で、主演を務めるのはポール・メスカルとジェシー・バックリーです。

本作の感情的な重みの多くは、この二人の演技に支えられており、約2時間の上映時間を見事に牽引しています。しかし、それ以上に異彩を放ったのが、タイトルにもなっているハムネットを演じた子役でした。非常に幅広い感情表現を見せ、最終的には物語の感情的中心とも言える存在になっています。

技術的な面に関して、本作の撮影は自然光を大きく活かした映像表現が特徴です。撮影監督を務めたのはウカシュ・ジャルで、『関心領域』や『ゴッホ～最期の手紙～』などでも知られています。ロバート・エガース監督の『ウィッチ』を観たことがある人なら、どこか共通する映像スタイルを感じるでしょう。

また、「中世の人々は皆ひたすら不潔で惨めだった」というありがちな描写に頼らない、リアリティのある美術・セットデザインも素晴らしく、16世紀イングランドの世界観に深く没入させてくれます。

ネタバレになりすぎない範囲で言えば、本作は非常に生々しく、感情を強く揺さぶる映画です。

後半には、観客の心を打ち砕くような場面がいくつもあり、多くの人が共感、あるいは強い同情を抱くことでしょう。本作の中心にあるのは「喪失」と、人々が芸術表現を通じてどのように悲しみを受け止め、乗り越えていくのかというテーマです。

そしてこれらのテーマは、今年観た映画の中でも特に美しいと感じたラストシーンへと結実していきます。

『ハムネット』は、今後クロエ・ジャオ監督の代表作の一つとして語られていく作品になるのではないかと思います。また、『エターナルズ』によって離れてしまったファンたちを再び呼び戻した作品としても評価されるかもしれません。

総じて『ハムネット』は、美しい映像、力強い脚本、そして素晴らしい演技によって作り上げられた、非常に感情的で胸を打つ作品です。エンドロールが流れる頃には、観客の心に大きな余韻を残していることでしょう。